新市町村の横顔

緒川村

内田村長

1. 沿革

水戸から大宮までバスで45分ここで八里行のバスに乗替えさらに40分で役場前に着く。小さな山が囲じようし、山狭を縫つて美しい畑と川が流れる。バスが山の奥へ奥へと向つて進む感じは、この村がすぐ西に栃木県と境しているためであろう。

この村は昭和31年9月29日、旧小瀬、八里の2カ村合併により成立したが、新しい村名は、美和村鷲子山に源を発し、村の東部を北から南に貫流する緒川にその名をとつた。旧小瀬には古墳時代の遺跡があり、この地に古代社会が開けていたことを示すが、小瀬は渓流にその名を由来し、八里は明治21年町村制施行の際8カ村の合併によりなつたため、かく名づけられた。

新村は東西8.04km、南北6.28km、面積57.63平方粁、世帯数1,560、人口8,544人(男4,160人、女4,384人)—昭和34年3月末—で、大正9年の世帯数1,349、人口7,498人からは、世帯数において115.6%、人口において113.9%と増加しているが、それでも県全体のそれが、世帯数で149.9%、人口で152.9%と増加しているのに比べるとこの村が長年の間、大きな変化もなく推移して来たことを示している。

それは本村の総耕地面積が約817ヘクタール(田約309ヘクタール、畑約503ヘクタール、樹園地約5ヘクタール)——昭和34年2月——で、総面積の約14%に過ぎず、1戸当耕作面積が0.6ヘクタールと非常に少いことと、交通が不便で、水戸八里間、大宮八里間のバスが日に10使走行き来しているに過ぎず、まずは山村的農村といつた性格が、長い間本村の大きな発展を見せることなく保ち続けて来たのであろう。それを裏づける現象として、本村には季節労働者が100人程いる。そして遠く富山あたりにダム工事に出掛け、家族に仕送りしている。

2. 産業

本村の産業の特色は従つて林業にある。昨年5月、国有林37ヘクタールの払下げを受け、現在1,000戸は山を所有しているから、村の3分の2は大なり小なり山持ちというわけだ。

33年の林野面積は合計約3,700ヘクタールで、32年度の林産物の推定販売高は、次表のとおりである。

	素材	木炭	薪	杉皮
出荷数量	3,200m³	75,000俵	35,500束	35,000束
金額	32,500千円	24,000千円	1,260千円	2,025千円

従つて村の行政にも林業は大きなウェイトを持つている。林道の開発には210万円を投じているし、来年2月完成予定の村庁舎も、総工費1,100万円のうち700万円は前記国有林払下げの余剰金だそうだ。

本村の主要農作物の生産額は、昭和33年総額192.937千円であるが、たばこ(だるま種)が68,557千円でトツプ、次いで水稲の55,260千円となる。別に取上げる作物もないが、昭和31年夏、山梨県から技術員を招きブドウ栽培に乗り出した。本村は比較的朝晩の寒暑の差がはげしく雨のやや多いのが欠点だそうだが、まずはブドウ栽培に適し、現在組合員100名、約10ヘクタールに植付が完了し、村でも補助金を年10万円支出している。

3. 教育文化

本村の教育について特筆すべきは、県立小瀬高等学校の存在である。当校は明治32年村立小瀬農業補修学校として出発し、昭和16年茨城県立小瀬農学校となり、昭和23年現在の姿となつたが、昭和33年5月1日現在学級数は9、生徒数は399名で、当村をはじめ、美和、大宮、山方、御前山の子弟の教育にあずかるところが大きい。昭和33年の調査によると本村の中学卒業者のうち70名が、この高等学校に進学している。

山の多い本村では、うさぎ、いのししの猟が多い。村内に数カ所仕掛けられたいのししのわなには3頭とか掛つたそうである。又村内を清流する緒川には毎年5万匹からの鮎が放流され、夏になると友釣りの泊客が多いという。本村からの帰途、大宮へ向うバスが七曲りに山を下つていく風景は一寸したものであつた。

村長のことば

緒川村も発足以来3年の春を迎え、その間、道路の新設改修、小中学校の増改築等、当初の諸計画が着々実行に移されたが、今後の問題としては、役場新庁舎の建築老朽校舎の改築の外、農村振興対策の樹立実行、国民健康保険の実施等が焦眉の問題として残つている。

幸い当村は納税成績が県下を通じて上位に在り、数年連続表彰の栄を得ている程で、この事実は村民一般が村務に協力する熱意のあらわれであり、今後も産業の振興をはかり文化農村の実を挙げ、真の理想郷に近づけたいと念願する次第である。

4. 財政

昭和34年度歳入歳出予算　(単位円)

歳入	村税	地方交付税	公営企業及び財産収入	使用料及び手数料	国庫支出金	県支出金	寄付金	繰入金	繰越金	雑収入	村債	合計
	9,785,720	13,292,000	741	156,500	2,176,000	3,278,840	1,405,000	6,680,000	1,915,430	52,000	7,500,000	46,242,231

歳出	議会費	役場費	消防費	土木費	教育費	社会労働施設費	保健衛生費	産業経済費	財産費	統計調査費	選挙費	公債費	諸支出金	予備費	合計
	1,153,820	17,395,600	946,630	1,266,210	14,348,350	547,730	771,600	6,126,070	135,021	66,900	435,140	501,680	2,347,480	200,000	46,242,231